

ハザードマップ ウォーキング



災害時に適切な避難行動ができるよう、実際に**現地を見て歩き**、**避難経路や河川・水路などの避けるべき場所を確認**しましょう！

適応

災害に備えよう！



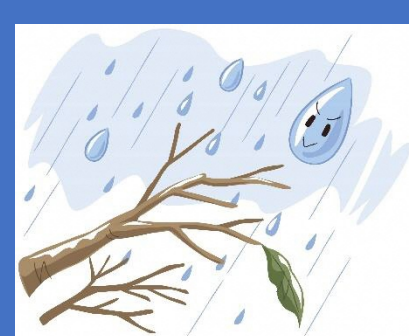
健幸

避難ルートを歩いて
健幸に！！



学ぶ

防災力UP！！



緩和とは？ 適応とは？



人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が必要です。

緩和を実施しても気候変動の影響が避けられない場合、その影響に対処し、被害を回避・軽減していくことが適応です。

緩和策と適応策

引用：気候変動適応情報プラットフォーム(国立研究開発法人国立環境研究所)

みなさんは「気候変動影響への適応」や「適応策」という言葉を聞いたことがありますか？

気候変動の影響は、私たちのくらしの様々なところに既に現れています。気温上昇による農作物への影響や、過去の観測を上回るような短時間強雨、台風の大規模化などによる自然災害、熱中症搬送者数の増加といった健康への影響などです。

これまで広く知られてきた「**緩和策**」と呼ばれる、温室効果ガスの排出量を減らす努力などに加えて、これからの時代は、すでに起こりつつある気候変動の影響への「**適応策**」を施していくことも重要になります。

ハザードマップウォーキングは適応策の一つです。

近年、過去の観測を上回るような短時間強雨が増加しています。大雨による河川のはん濫や下水道のはん濫(内水はん濫)、浸水被害を防ぐための警戒避難体制を強化することも「**適応**」です。



ハザードマップ・ウォーキングは、どんなことをするの？

<取り組み事例>

①まなび

気候変動の適応や防災について知ろう！

- ・なぜ災害が増えているの？
- ・適応って何？
- ・気候変動に対して、私たちは何ができるの？
- ・災害が起こる前に、自分たちでできることは？



②ウォーキング！

外に出てまちを歩いてみよう！

- ・自宅から避難経路の確認してみよう！
- ・危険な場所はないか確認してみよう！



町内会等の行事（防災訓練・歩こう会・子ども会まち探検など）にあわせて、気象予報士や地球温暖化防止活動推進員など、専門的な知識を持った講師を無料で派遣します！

<講座メニュー>

こんな時は？	問い合わせ
①気候変動に関する講座をしたい！ ～くさつゼロカーボンアクション！～	草津市 温暖化対策室 (561-6581)
②ハザードマップや水防情報について知りたい！	草津市 河川課 (561-2397)
③防災について知りたい！	草津市 危機管理課 (561-2325)

※上記メニュー以外の講座についてもお気軽にご相談ください。

<お問い合わせ先>

草津市環境経済部 温暖化対策室

〒525-0043 草津市馬場町1200番地25(草津市立クリーンセンター内)

TEL: 077-561-6581 FAX: 077-561-6584 E-mail: ondanka@city.kusatsu.lg.jp